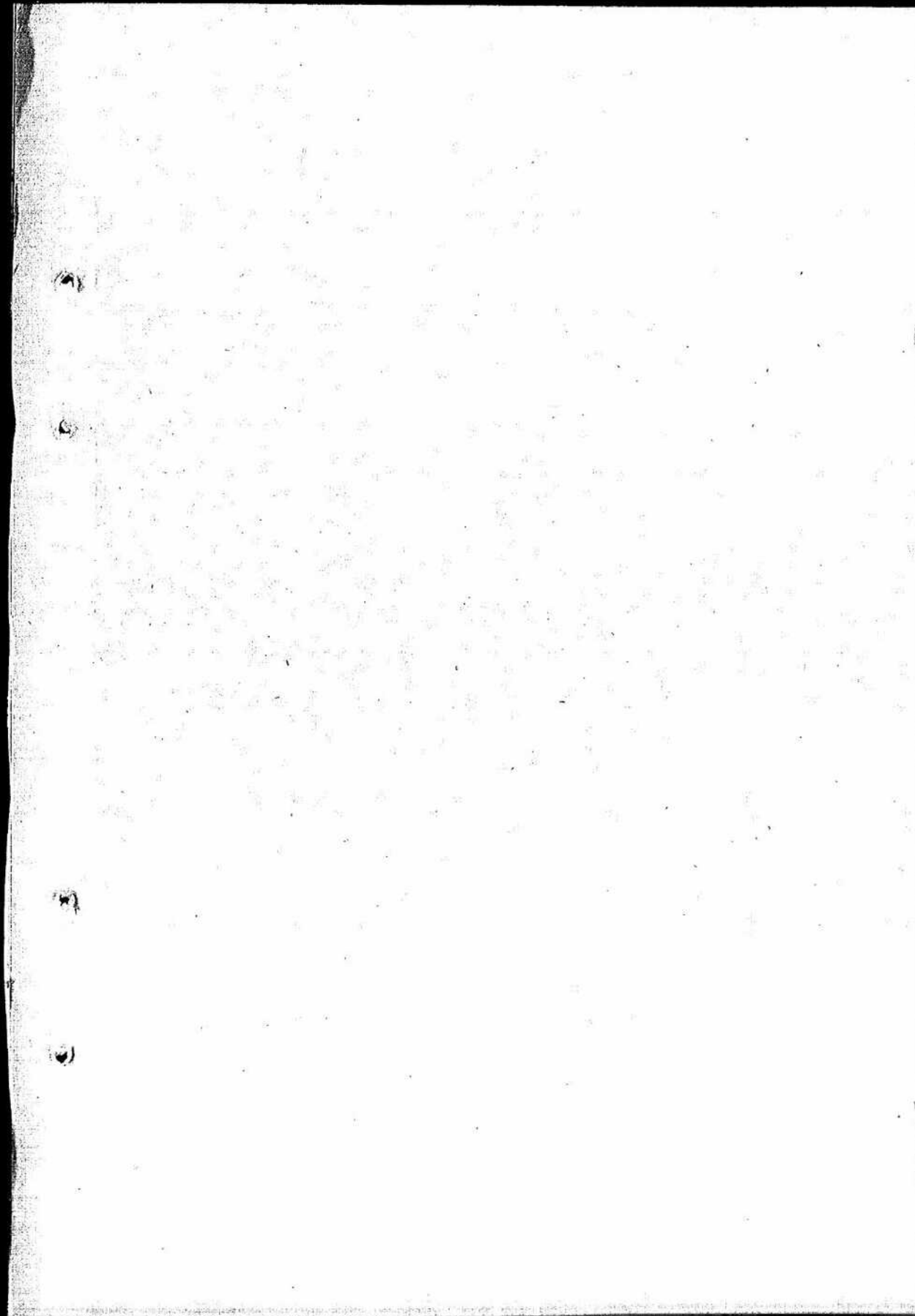


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館	
分類	③ ④
排架番号	3 A
	15
	62-15

62-15





Item No 79

# 會計公文簿

## 野島埼燈台

参考用

自昭和十八年  
至

国立公文書館	
分類	③ ㊦
配架番号	3 A
	15
	62-15

裏面白紙

昭和十八年一月目錄

第一號	昭和十八年分俸給料支拂調書
第二號	昭和十八年分勤勞所得二対五控除申請書 (後々署宛)
第三號	同上 (後々署宛)
第四號	電燈料金集束承諾書 例規綴替へ
第五號	一月分市外電話料金調書
第六號	二月分令 上
第七號	電燈料金請求書 附文件
第八號	修繕物品受領書
第九號	自轉車修繕一件
第一〇號	水汲人夫備付一件
第一一號	物品名合調書
第一二號	電燈會社代理人更迭一件

第一三號	三月分市外電話料金調書
第一四號	諸物件費請求一件
第一五號	三月分託送電報料金納入告知書
第一六號	四月分市外電話料調書
第一七號	旅費支給函二件
第一八號	物品引継報告書
第一九號	四月分電報料金納入通知書
第二〇號	夜料切符制適用函二件
第二一號	勤勞所得控除申請件(岡野技士分)
第二二號	四月分俸給支拂通知書内訳一件
第二三號	五月分俸給支拂通知書内訳一件
第二四號	五月分市外電話料調書
第二五號	五月分市外電話料納入通知書

共第一號

燈臺局

第二六號	六月分俸給内譯書
第二七號	后期類直接精算二箇件
第二八號	蒸溜水空瓶運搬費一件
第二九號	修繕物品受領書(ストップボタン)
第三〇號	(回路試験器)
第三一號	六月分市外電話料調書
第三二號	物品引継報告書
第三三號	六月分託送電報料金納入通知書
第三四號	七月分
第三五號	修繕物品受領書(置時計)
第三六號	全 (クラシカル)
第三七號	全 (ストップスイッチ)
第三八號	物品受領書 (襟章二)

第三九號  
 第四〇號  
 第四一號  
 第四二號  
 第四三號  
 第四四號  
 第四五號  
 第四六號  
 第四七號  
 第四八號  
 第四九號  
 第五〇號

釜保管換ノ件

七八月分市外通話料調書

各所物件ニ關スル件

乾電池外十三莫購買ノ件

木炭外一莫購買ノ件

郵便切手立替購買ノ件

石炭割當ニ關スル件

九月十月分市外電話料調書

椅子修繕ノ件

衣料切符送付ニ關スル件

俸給支給日ニ關スル件

十一月分市外通話料調書

共第一號

燈  
 臺  
 局





27  
3

2

7

7  
2

4

7

4

7

7

共  
第  
一  
號

裏面白紙

昭和拾七年三月廿六日

直第九五六號

昭和十七年十月二十二日

長殿

館山稅務署長

昭和十八年分俸給給料賞支拂調書提出方、件  
標記、件、因之用紙送付致候條尤記事項御留意、上明年  
一月末日迄、提出相成度  
右及照會候也

記

- 一 別紙注意書ヲ御参照相成度
- 一 一人別調書ハ三枚複写ニ付ニ枚(厚薄各一枚)ヲ当署へ提出一枚  
ヲ貴所ニ保存相成度

御調書提出方

海務院

支給者	住所氏名	課税年	支給額	課税年
松浦 誠	野島 志	17.6.15	618	17.6.15
松浦 誠	野島 志	17.12.14	539	17.12.14
松浦 誠	野島 志		90	
基礎控除額		600		
生命保険料		7080		
扶養家族		0		
徴収シタメ 分類所得税		0		
要		17.6.30	50月引算給	

海務院

支給者	住所氏名	課税年	支給額	課税年
川合 萬造	野島 清	17.6.15	430	17.6.15
川合 萬造	野島 清	17.12.14	451	17.12.14
川合 萬造	野島 清		107	
基礎控除額		600		
生命保険料		12231		
扶養家族		0		
徴収シタメ 分類所得税		0		
要		17.9.21	12.5月引算給	

海務院

支給者	住所氏名	課税年	支給額	課税年
木曾 巳之吉	野島 清	17.6.15	566	17.6.15
木曾 巳之吉	野島 清	17.12.14	561	17.12.14
木曾 巳之吉	野島 清		111	
基礎控除額		600		
生命保険料		7230		
扶養家族		49600		
徴収シタメ 分類所得税		0		
要		17.12.28	1名出生	

海務院

支給者	住所氏名	課税年	支給額	課税年
新田 四郎	野島 清	17.6.15	1020	17.6.15
新田 四郎	野島 清	17.12.14	1283	17.12.14
新田 四郎	野島 清		395	
基礎控除額		600		
生命保険料		24800		
扶養家族		9372		
徴収シタメ 分類所得税		0		
要		17.12.26	1名出生	

海務院

支給者	住所氏名	課税年	支給額	課税年
園田 清	野島 清	17.6.15	990	17.6.15
園田 清	野島 清	17.12.14	1283	17.12.14
園田 清	野島 清		310	
基礎控除額		600		
生命保険料		6748		
扶養家族		8200		
徴収シタメ 分類所得税		0		
要		17.7.26	1名出生	

海務院

支給者	住所氏名	課税年	支給額	課税年
手光 剛	野島 清	17.6.15	783	17.6.15
手光 剛	野島 清	17.12.14	791	17.12.14
手光 剛	野島 清		170	
基礎控除額		600		
生命保険料		14800		
扶養家族		23000		
徴収シタメ 分類所得税		0		
要		17.12.28	1名出生	

裏面白紙



裏面白紙

昭和拾七年五月廿六日

直第九五七號

昭和十八年十二月二十二日

館山稅務署長

長殿

昭和十八年分甲種、勤勞所得、扶養家族、生命保險料、控除申請書

用紙送付致候ニ付左記事項御留意、上御處理相成

度

右及送付候也

記

- 一 本申請書ハ昭和十八年一月最初ノ支離掛受迄日、前日迄
- 二 取纏マシ度、其他注意事項参照相成度
- 一 用紙不足、場合ハ印刷其他、方法ニ依リ、不用紙ニ準シ
- 作成相成度、當署ニ餘分無シ、付御諒承被下度

昭和十八年十二月二十二日

第 號

裏面白紙

燈臺局

昭和拾八年壹月拾日

野島町燈台長 新田田郎

航路部長中尾國次郎殿

勤勞所得對立控除申請件

對修監甲第〇七号通牒(一第〇三三)

本件昭和十八年度分在勤員之取纏及提去後

第

號

院務海 場所 經由

昭和十一年分申請所得に對する 扶養家族 控除申請書  
 昭和十一年一月十日提出  
 横濱稅務署長殿  
 住 千葉縣安房郡白河町六番地  
 野島崎烽火台  
 申請者 新田 四郎  
 氏名

扶養家族の控除

氏名	生年月日	職業	申請者との関係	扶養家族の所得	備考
新田 四郎	明治四十一年十月二十四日	無	妻	無	
新田 恵子	昭和八年五月十四日	無	長子	無	

計式人 控除額 四圓

生命保險料の控除

保險會社又は郵便局の名稱	保險の種類	保險金額	保費の納付者	保費の納付額	前年中控除の金額	備考
帝國生命	養老	七〇〇圓	四郎	三九七圓	三〇〇圓	
小倉	簡易保險	四〇七圓	新田 四郎	三〇〇圓		

燈 臺 局



力	力
入	入
向	向
簡	簡
易	易
保	保
險	險
七	七
四	五
。	。
四	四
郎	郎
新	新
田	田
四	妻
郎	子
同	長
人	女
七	七
。	。
。	。
。	。

共第一號



裏面白紙

燈臺局

昭和八年分甲種勤勞所得課税  
 昭和八年分甲種勤勞所得課税  
 千葉縣安房郡白浜町  
 控除申請書  
 昭和八年一月十二日提出  
 手光剛  
 捺印

扶養家族控除

姓名	生年月日	職業	申請者上 不具養疾 種類	扶養家族 所得額
宣博	七年十月廿日	無	長男	無
マズ子	七年八月廿日	無	妻	無

計貳人 控除金額 四圓

生命保険料控除

保險会社名	保險種類	保險金額	保險契約者名	保險金受取人 名	前年拂入 料

備考

經由場所

海務院



裏面白紙

昭和拾八年分甲種勤勞所得に對する扶養家族控除申請書  
 昭和十八年十一月十二日提出  
 稅務署長殿 所住千葉縣安房郡白浜町申請者名  
 松浦 志 印

經由場所 扶養家族の氏名 生年月日 職業 申請者不具養症の種別 扶養家族の所得金額 備考

海務院		計	人	控除額	圓	
白浜局	簡易保険不明	志	松浦志	同	人	五八〇〇
三井生命	養老言	志	松浦志	同	人	五八〇〇
郵便局	養老言	志	松浦志	同	人	五八〇〇
白浜局	簡易保険不明	志	松浦志	同	人	五八〇〇
生命保険料の控除				圓		
備考				圓		

證 臺 一 局

裏面白紙

證 臺 局

昭和十八年分甲種の勤務所得に對する扶養家族控除申請書 昭和十八年一月十二日提出  
 住 十葉縣 安房郡 白濱町 六三〇番地  
 甲種 川 合 萬 造 印

扶養家族の控除

扶養家族の氏名 生年月日 職業 申請者 扶養家族の所得 金額 備考

無

計 人 控除額 圓

生命保険料の控除

海 務 院 經由場所

三井生命 郵便局 甲種養老 三井生命 萬造 萬造 同人 一三三二 備 考

印



裏面白紙

燈臺局

昭和拾八年分甲種の勤勞所得に對する扶養家族控除申請書昭和十八年十月十日提出  
 稅務署長殿 所住 六三〇番地 申請者 木曾乙之吉

扶養家族の控除

海務院

扶養家族名	木曾カシ	木曾常一	木曾サト
生年月日	昭和七年七月二十五日	昭和四年十月三日	明治三十年八月二十八日
職業			無
申請者との続柄	長女	長男	妻
扶養家族の所得			無
控除額			無
備考			

計参人控除額 六圓

生命保険料の控除

保險会社名	白濱局	信友生命	保險會社
保險の種類	簡易保險	養老	保險の種類
金額	二八〇〇〇	一〇〇〇〇	金額
約者名		乙之吉	約者名
保險金受取人		木曾常一	保險金受取人
前年中の控除額	一三〇〇〇	三〇、三〇〇	前年中の控除額
備考			備考

昭和十八年

第

五  
號

をほは八参貳参番  
一金 高圓 拾錢

印刷日



五	三	五	九	四	五	五	三	山	通	先
松	川	新	古	手	松	通	先	備	考	
浦	合	田	谷	老	浦	先	考			
		岡								

月日 区金 押別 通 票 料 金

件名 通 先

郵政部長 中尾國次郎 殿

野島新田長

新田四郎

昭和拾八年貳月壹日

昭和拾八年壹月分 外幣兌換料調書  
一金 壹日 六拾 錢也  
但 在 宛 内 譯 通

燈 臺 局



昭和拾八年...

昭和拾八年正月壹日  
 野島崎海軍部長  
 新田田郎  
 昭和拾八年正月分 外幣兌換料調書  
 一 金壹日六拾錢也  
 但在國內譯通

月日	區	種別	通設料令	件名	通設先	備考
一六	八	種用	一	雜件	一五三	松浦
一〇	〇	角	一	雜件	一五三	川合
一〇	〇	角	二	雜件	一四九	新田
一〇	〇	角	一	雜件	一四五	古谷
一〇	〇	角	一	雜件	一四五	手老
一〇	〇	角	一	雜件	一四五	松浦
一〇	〇	角	一	雜件	一四五	松浦

燈臺局

新田田郎



月日	件名	件数	備考
一月一日	...	...	...
一月二日	...	...	...
一月三日	...	...	...
一月四日	...	...	...
一月五日	...	...	...
一月六日	...	...	...
一月七日	...	...	...
一月八日	...	...	...
一月九日	...	...	...
一月十日	...	...	...
一月十一日	...	...	...
一月十二日	...	...	...
一月十三日	...	...	...
一月十四日	...	...	...
一月十五日	...	...	...
一月十六日	...	...	...
一月十七日	...	...	...
一月十八日	...	...	...
一月十九日	...	...	...
一月二十日	...	...	...
一月二十一日	...	...	...
一月二十二日	...	...	...
一月二十三日	...	...	...
一月二十四日	...	...	...
一月二十五日	...	...	...
一月二十六日	...	...	...
一月二十七日	...	...	...
一月二十八日	...	...	...
一月二十九日	...	...	...
一月三十日	...	...	...

郵政部長中尾國次郎

月日	区合	種別	通数	料令	件名
一月六日	知用	普通	一	五	雜件
一月三日	知用		二	三〇	雜件
一月一日			一	五	雜件

昭和拾年壹月分  
 一、金壹百六十拾餘也  
 但在区内譯通

昭和拾八年貳月壹日

野島崎



燈臺局

昭和拾八年夏月分中外電信料謝書  
一金壹圓參拾錢也  
但右記内譯通

昭和拾八年參月壹日

長 新田四郎

航政部長中尾國次郎殿  
日 日 区 外 標 別 通 話 料 金 件 名 通 話 先  
通 話 名 備 考

電信料受金簿為小

記 號  
香 號  
をばは八四七番

一 金 壹 圓 參 拾 錢

伊 附 口 出 基



未交領證書の爲に、佛度又ハ佛度證書ノ請求及、他ノ請求ノ爲  
ニ、本券ハ、差出タル、一ノ證明ニ、爲、必要ニ、自、大、切、保、留、申、出、直、候

九	七	二	五	一	津
、	夕	夕	夕	夕	夕
		夕	夕	夕	夕

第六









三三二	三三一
ク	新編
ク	普
一	一
五	五
ク	雑件
四九	五館 二山
園田	手考

共  
第  
一  
號

裏面白紙

昭和拾八年參月五日

海航標第三九七號

通

牒

昭和十八年五月二日

標 識 課 長

燈 臺 長 殿

電燈料金請求ニ關スル件

本件電燈料金ノ請求ニ關シ從來請求書提出ノ著シク遅延スルモノ又ハニ  
 三月分ヲ一括請求スル向不勘處理上甚ダ支障難有候條自今當月分ノ請求  
 ハ必ず翌月十日迄請求書提出相成様取計相成度  
 追請請求書燈臺經由ノ際ハ燈臺長ハ必ず之ヲ調査シ遲式、誤算ナキヲ  
 確メ然ル後提出相成度





昭和拾五年四月廿六日  
昭和拾七年三月壹九日  
霞  
霞  
霞

第 _____ 號		修繕物品受領書			物品整理區分	工事材料部
品名	數量	物品番號	請求年月日	昭和 15 年 22 月 24 日		
電 流 計	之		請 求 元			
備 考	上 記 ノ 通 受 領 ス					
	昭和	年	倉庫 548	日	監 理 課 調 度 係 主 任	

裏面白紙

會第四十五號

二 尾

昭和三十八年參月壹六日  
新田四郎

航路部長中尾國次郎殿  
自轉車修繕ノ件

- 房野第三〇號伺(十七、四十七日)
- 海官第七五號認(十七、五十九日)
- 房野第七四號 (十七、九十七日)
- 海官第六四號 (十七、十、十一日)

本件修繕方認可相成候處材料不配給ノ為、修繕不能ニ有之候ハ自轉車修繕ノ件一先中止致度候ニ付御諒知相成度

燈臺局

裏面白紙







大日本帝國政府

昭和十七年拾月貳日

海官第一八四五號

昭和十七年十月一日

海務院官房庶務課

野島埼燈臺 御中

自轉車修繕ノ件

對房野第七四號

右ニ關シ申出ノ次第有之モ在庫品ナク目下主管廳宛御當要求中ニ付之ガ  
確定ノ上ハ送付可致候條相當修理使用ノコトニ處理相成度

第九號ノ内

裏面白紙

燈臺局

七四

昭和拾七年九月拾七日

新田四郎

航路部長中尾國次郎殿

自轉車修繕件

閣下野野三。辨伺 四月十七日

海官某言辨承認 五月十九日

本件右関係文書依修繕方御認可受其後鏡意修繕  
 二取次町坂場及具積者交渉致居候之最近具積書提出  
 當時如クク及中袋ノ当地ノ一配給状態良好ト云一圓僅  
 三五之本ニテ且之報分家向官廳用ノ配給ニ無之趣點  
 修繕ニ要ス材料ノ当地ノ人手ノ不可能ト相成候ニ取  
 次及中袋同送方御取計願度

猶右同送方不可ト云修繕不能ト時右柄使用ノ必要

九

益々加ふ所不取今此儘之入筆業上支障有之候  
之敷也 新品一名交付相成度 夫之請取書添付  
致置候

請取書添付 三葉

中袋 二個

夕イヤ 二個

自轉車一名

昭和拾七年五月廿日

海官第七二九號

昭和十七年五月十九日

海務院官房庶務課

野島塔燈臺御中

自轉車修繕ノ件

對房野第三〇號伺

本件承認セラル



第九ノ内

海務院

(印)

日本標準規格B5判

裏面白紙



裏面白紙

燈臺局

三〇 伺

昭和十七年四月十七日

郵務局長 新田四郎

航路部長 中尾國次郎殿

自轉車修繕件

本局備付自轉車八時局叔最近使用頻ニ繁煩トナリタル為  
メ破損モ甚ダシキ其都度自費ヲ以テ修繕致居候モ到底使用  
ニ不堪迄ニ破損致候ニ就テハ別紙見積書、金額ヲ以テ仕様  
書一通、修繕致度候条御認可相成度

進而御認可際ハタイヤ及中袋各一組購買券添付相  
成度

九

内

裏面白紙

燈臺局

自轉車修繕仕様書

- 一、タイヤ新品ト交換 代金一組一〇円四十銭
- 一、中袋新品ト交換 代金二本二円四十銭
- 一、ベル新品ニ取替 代金一ヶ 五十九銭
- 一、握リ新品ニ取替 代金一組 六十銭
- 一、右部分品ノ取付並ニブレーキ及シヤフトノ調整其  
ノ他各部分ノ分解掃除手入ヲ嚴密ニナスモノトス
- コノ代金自轉車職一人半 四円五十銭

以上

第九  
號ノ内

見 積 書

金

1849

白物申修繕見積高

見積書提出日  
昭和十七年

内

譯

見積人 / 人

品名又は名稱	品質形狀寸法 仕様又は摘要	數量	單價	小計	備考
白物申修繕	部品交換 全部調整 除入	1	1849	1849	
合計				1849	

上記燈臺局契約規程承諾、上見積候也

昭和十七年 4月 17日

燈臺局御中

千葉県安房郡白浜町  
青木知方

會第三十九號

裏面白紙

第九

昭和拾八年三月廿八日

海航標第五四八號 通

牒 昭和十八年三月二十五日

標 識 課 長

野島 琦 燈 臺 長 殿

水汲人夫 備役ノ件

對房野第一五號(三一七)伺

本件伺出ノ處本日ヨリ降雨アリタルニ付備役セザルコトト致度

大日本帝國政府

第一〇號

裏面白紙



裏面白紙

燈臺局

局附第一七號

報告

昭和拾八年參月廿六日

航路部長中尾國次郎殿

局長新田四郎

水汲人夫備役ノ件

関野房野第一五號 伺(三一七)

本件ニ于ニヨリニ十五日迄ニ雨ノ降雨ニ依リ約十日分使用

量ノ貯水ヲ得ニ候ニ就テハ先人夫備役見合セ候ニ就キ

御了承相成度

猶今後更ニ人夫備役ノ必要有之候節ハ改メテ伺可出候

郵

〇

〇







其第一說



見積書

金

人夫見積高

見積人 佐々木 他九

内

譯

見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
人夫	井水運搬用		170		白浜町青木町燈台造 (距離約十町)水運搬
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

18年3月17日

燈臺局御中

千葉縣安房郡白浜町

木曾直治郎

會第三十九號

裏面白紙

録 / 3 録 / 水

裏面白紙

物品處分調書

昭和拾八年貳月廿七日

燈臺局

野島増燈台物品保管主任

視察長高木八百造殿

新田四郎

處分方指示ヲ受クベキ物品之無候

裏面白紙

燈 臺 局

代理人更迭御届

今般御廳ニ對スル弊社代理人更迭ノ爲メ前代理人  
ニ對スル委任ヲ解除シ新代理人ヲ選任致候條別  
紙委任狀相添ヘ此段及御届候也

前代理人 北武 吉郎

新代理人 館野 精一

昭和十八年三月一日

東京市芝區田村町壹丁目壹番地貳

關東配電株式會社

(會社印)

社長

新井 章治 印

第 一 二

裏面白紙

印收入

印

委任狀

燈臺局

弊社儀弊社社員館山營業所長 館野精一  
ヲ以テ代理人ト定メ左ノ權限ヲ委任ス

自昭和十八年三月一日  
至昭和十八年三月三十一日 同野島塔燈台州之塔燈台

ニ對スル營業事務ニ關シ電氣料金機械器具代金其ノ他  
ノ請求竝受領ニ關スル一切ノ件  
右委任狀仍而加件

昭和十八年三月一日

東京市芝區田村町一丁目一番地貳

關東配電株式會社  
社長 新井章治 印

被委任者  
印

乙 No. 17

印



小為替金領證書

一 金 圓 四 拾 五 錢

記號  
番號

をほは八六四番

印附日出振



本受領證書は、為替金、拂戻金、再取證書、請求及其他ノ請求ノ為  
ト場合、差出人タレトテ證明スル為必要ニ付、大切ニ保存相成度候

昭和拾八年三月分中外電信料調書  
一 金 四 圓 拾 錢  
個在記内譲通

昭和拾八年四月壹日

月日 区令 欄別 通話料金 件名  
航路部長 中尾國次郎 敬  
長 新田四郎  
通話先  
備考

六	= 籠 五 =	= 籠 一 =	通話先
九	= 籠 六 =	= 籠 二 =	通話先
手	園 新 手	園 新 手	通話先
田	園 新 田	園 新 田	通話先

燈 臺 局

Handwritten notes and a small table at the top of the page, partially obscured by a tear in the paper.

昭和拾八年三月分市外電話料調書  
 一金田田長拾録也

但左記内譲一通

昭和拾八年四月壹日

航路部長中尾國次郎

長新田四郎

月日	区分	種別	運送	料金	件名	通話先	通話元	備考
三	公用	私用	私用	私用	私用	私用	私用	
一	一	一	一	一	一	一	一	
五	五	五	五	五	五	五	五	
六	六	六	六	六	六	六	六	
九	九	九	九	九	九	九	九	
	園	新	手	園	新	田	田	

登 臺 局

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

月日	区	分	種別	通話数	料金	件名
五	私	用	私	用	私	用
五	公	用	公	用	公	用
五	私	用	私	用	私	用
五	公	用	公	用	公	用
五	私	用	私	用	私	用
五	公	用	公	用	公	用

航路部長中尾國次郎

昭和拾八年四月壹日  
 一、金田田長崎線  
 但左記内課通

≡ 八	≡ 七	≡ 三	≡ 九	フ	フ	≡ 田	≡ 三	フ	≡ 〇
フ	フ	フ	フ	フ	フ	知用	心用	フ	知用
フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	普通
≡	一	一	一	一	一	一	一	一	一
フ									
≡ 〇	≡ 〇	≡ 五	≡ 五	≡ 五	≡ 五	≡ 五	≡ 五	≡ 五	≡ 五
フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
		横				雜	雜		雜
		件				件	件		件
≡ 田	≡ 田	≡ 田	≡ 田	フ	フ	フ	フ	フ	フ
國	新	吉	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
田	田	田				田	新	田	田



裏面白紙

燈臺局

昭和拾八年四月拾日

長新田田郎

榎藏課長下田行夫殿

諸物件償請求書

封海板標 築田、八路（三三）

本件、物件償、同、請求書、本日同封、提出、三首分燈塔料、余請求書、以、大々、左記通り、全部提出済、有之矣

記

備、人給料請求書並、戦時勤勉手帳請求書、  
三首分燈塔料請求書

三首分燈塔料請求書

三首分提出

三首提出

二一

昭和拾八年三月八日

海軍標第四〇八號 通 牒 昭和十八年三月二日

標 識 課 長

諸物件費請求ノ件

年度更改期ニ付請求書類提出洩レノ有無ヲ精査ノ上過年度支出等ノ事無キ様注意シ未提出ノモノハ遅クモ四月上旬迄ニ本部着ヲ期シ提出相成度追テ三月分電話料託送電報料調書ハ大至急提出相成度



裏面白紙



託送電報料金納入通知書

發行 日付印	由 事	額 金	人付納	通知書 番 號
	但シ昭和十八年五月分電線託送電報ニ關スル料金 右昭和十八年四月三十日迄ニ當局ニ納付相成度	壹拾七圓	灯台局	第 四 五 號 者 當 務 印

東京地方電信局電信部印行 通電第...

裏面白紙



燈臺局

昭和拾八年五月壹日  
但七歳内譯通一  
一 金貳圓參拾五錢  
昭拾八年四月分中外世話料調書

野島均燈台長  
新田四郎  
通話先  
通話名  
備考

小島會受領證書

記號  
番號

をばは八七七番

印附日出振

18.5.4

一 金貳圓參拾五錢

本受領證書は、舊金、拂戻入、再度證券ノ請求及其他ノ請求ヲ爲ス場合、及出入タレトシノ證明スル爲必要ニ付、大切ニ保存相成度候。

通話先	通話名	備考
新田	古谷	

第一〇〇號







三	九	八	七	六	五	四	三	二	一
〃	〃	角	用	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	〇	一	一	一	一	一
〃	〃	雜 伴	見 廣 秋	〃	〃	〃	〃	〃	雜 伴
〃	〃	一 五 三	〇 九	〇 九	〃	〃	〃	〃	〃
古 谷	川 谷	古 谷	園 田	新 田	〃	〃	〃	〃	新 田

共第一號

裏面白紙

官房庶務課 御中 昭和拾八年參月壹六日

旅費支給之關スル件

左記之關スル旅費未着ニ付取調へ上支給相成  
度候

記

- 一 技術員川合万造東京ニ於ケル通信士檢定受験  
ニ關スル旅費(昭和十七年八月廿四日迄ヲ旨向)
- 一 標識技手新田四郎 横濱出張所ニ於ケル  
第十三回專習會議ニ關スル旅費  
(昭和十七年十月二十五日迄ヲ旨向)

昭和拾八年五月四日 刻着本人ノ支入ス

第一八號



引繼報告書

昭和拾八年五月五日

引繼者

野島崎 物品保管主任 標識技手 新田四郎

引受者

野島崎 物品保管主任 標識技手 園田清

物品會計官吏殿

野島崎 昭和拾八年五月五日 現在物品ヲ相當帳簿ニ照シ引繼


ヲ了シ候

燈臺局

裏面白紙

第九號

託送電報料金納入通知書

日付印	事由	金額	人付納	通知書 番號
	但シ昭和十八年 右昭和十八年 五月二十日迄ニ當局ニ納付相成度	四月參拾參錢	新島嶽燈台	第 六 號 者當 印務

文一八號

電報局長印

裏面白紙

裏面白紙

燈臺局

房對第 二 六 號

昭和拾八年五月拾壹日

對島崎燈台長 園田清

海務院官房庶務課長 殿

衣料品切符製造用ニ関スル件

對海官第×××號

本件別紙調書ノ通、在勤者供出致候ニ就キ

及送付候

但ニ新田標識技手及古谷技術員ハ燈台官吏養成所ニ

轉任入學致候條養成所ヨリ供出致候ニ就キ

諒知相成度

第 二 〇 號

第二〇號ノ内

職名	氏名	切符
棟梁	園田清	一頁一三枚
合	手光剛	一頁一三枚
技術員	川合萬造	一頁一三枚
操機手	木曾乙之吉	一頁一三枚

備考

興島特燈台

衣料品切符供出調書

燈臺局

裏面白紙



（新税用紙類）甲種勤勞所得に關する申告申請書

稅務署長殿

所 傳 千葉縣安房郡白糸町 岡野岩雄 申

六三〇番地 岡野岩雄 氏 昭和十二年十二月十七日生

印

昭和十八年分甲種の勤勞所得に對する扶養家族控除申請書 昭和十八年五月十五日提出

扶養家族の控除

扶養家族の氏名	生年月日	職業	申請者と不具養疾の種別	扶養家族の所得	申請者は申請書提出の他の扶養家族の受給額	生年月日	申請との続行
ナ	シ						

保險會社又は

保險會社

取人

前年中に拂込

額

者

前略御書面確に拝受仕候愚息岩雄儀、分類所得控除申請に付、先般御通知下され候へ共本人(岩雄)契約セシ生命保險ハ皆無ニテ在候ハ此様御念に法午配ナシ下され度願上候

欠勤中ハ何カ御申取リ懸ケ申取無之候今後共宜ク御支援、程伏シテ懇願奉候先取敢へし御通知申上候

敬具

千葉縣安房郡白糸町 岡野岩雄

岡野岩雄

申請者との続行たる保險料	備
	控除される生命保險料は申請者の契約したるものに限ります

る場所

備

考

(本欄は二以上の支拂者から甲種勤勞所得の支拂を受ける者以外に記入する必要ありません)





めぐれず

昭和十八年五月十四日  
 勸業銀行 長崎支店  
 長崎支店 宛  
 勸業銀行 長崎支店 宛  
 勸業銀行 長崎支店 宛



基礎控除		生命保険料控除		扶養家族控除	
種別	金額	保険会社名	保険種類	氏名	生年月日
右及申請候也		ナ		ナ	
		シ		シ	

昭和十八年分甲種の勤勞所得に對する扶養家族の氏名

税務署長殿

不葉縣安房郡 六三〇番地



注 意 事 項

一、扶養家族の控除

イ、甲種の勤務所得に付て分類所得税を課税される方は此の申請を爲せば本年一月一日現正で同居する扶養家族一人に付き年二十四圓の割合(月給の場合に月二圓宛)で分類所得税の控除されまゝ、但し扶養家族中子が八人以上のときは他の扶養家族共一人に付き年三十六圓の割合(月給の場合に月三圓宛)で控除されます。

ロ、扶養家族は同一戸籍内の弟妹に片上及家族、年齢十八歳未満者は六十歳以上の者又は不具撥疾者に限ります。

ハ、扶養家族が本年分の事業所得、乙の勤務所得、山林の所得又は前年中甲種の勤務所得を有し此等の所得から二百圓を超える金額の基礎控除(所得税 第十七條等)の控除を受けるときは其の扶養家族は控除されません。

ニ、以上の支拂者から給與を受ける方で一方のみでは控除しきれぬときはその控除不足の人数だけ他の方から控除されます、その場合は別々に支拂者を経由して申請を要します。

二、生命保険料の控除

所得者本人若しは家族又は其の相続人を保険金受取人とする生命保険契約の保険料を控除申請した場合前年中の拂込額(利息配當を差引しない金額)中二百四十圓以内に於て左表の金額を其の税金から控除されます、尙健康保険、徴兵保険等の保険料及郵便年金の掛金は生命保険料に準じ控除されます。

保険料総額 十圓以下	控除税額 月七 錢	保険料総額 百圓ヲ超エ百四十圓以下	控除税額 月一 圓
十圓ヲ超エ二十圓以下	十四 錢	百四十圓ヲ超エ百八十圓以下	二圓三十四 錢
二十圓ヲ超エ六十圓以下	三十四 錢	百八十圓ヲ超エ二百廿圓以下	二圓六十七 錢
六十圓ヲ超エ百圓以下	六十七 錢	二百二十圓ヲ超ユルトキ	二 圓

三、基礎控除

イ、甲種の勤務所得に對する基礎控除(所得税法第十六條参照)とは年六百圓の割合で給與の支拂期間に應じ算出した金額(月給の場合に月五十圓宛)を其の給與の金額から控除する金額であります。

ロ、二以上の支拂者から俸給、給料等の支拂を受ける方はこの申告書を各別に作成し各支拂者の所得控除義務に提出せねばなりません。

ハ、基礎控除の順序は一國から受ける恩給(二國から受ける年金)三公共團體から受ける恩給、年金(四)歳費五公共團體から受ける費用(六)其の他の給與の順で不足があつた場合に順次、次から控除されます。尚一から五までの給與については其の年受ける金額を備へ記載して下さい。

四、本表は支拂者を異にする毎に毎年最初の支拂を受ける日の前日迄に給與の支拂者を経由して其の支拂者の所得税務署に提出して下さい。



裏面白紙

登 臺 局

控除申請ノ件

左記ノ通り貴官分類所得税控除申請書提出相成様  
通知アリタルニ付別紙控除申請書 生命保険料  
控除欄ニ適當記入、上至急返送相成度

記

服務係

左記ノ者ニ対ス分類所得税控除申請書未着ニ付  
至急提出相成度  
岡野岩雄

第一一號ノ内

航路部

服務係

五二八

野島崎燈台



四月分俸給支拂通知書内記ノ件

本件当台四月分俸給トシテ却送付ノ歳出金支拂通知書

五〇四五、二八年五月六日付金額參百貳圓拾七錢(新田四郎宛)

ハ左記ノ通リ不符号ニテ剩余金有之候條内記御報セ被下度

俸給記 氏名

九三、一〇 新田四郎

八三、三〇 園田清

六七、六二 手光剛

四九、〇〇 岡野岩雄

計二九三、〇二

支拂通知書 302.17  
俸給額 293.02

剩余金 9.15

昭和拾八年五月廿日

海務院海官房庶務課

野島崎灯台御中

表面御照会一金参百貳圓拾七銭也、内収左ノ通り

新田四郎渡 九五四

俸給高

国库納金

支給高

手花剛 六九四

一三八〇

六七、六二〇

園田清 八五四

一七〇〇

八三、三〇〇

岡野孝雄 五〇四

一〇〇〇

四九、〇〇〇

松浦忠 九三三

六〇

九、五

241 三〇八、三三〇

六一六

昭和拾八年五月廿日  
三對ノルル日割計算表ノ後リ支給ス  
三〇、二、一七〇

昭和拾八年五月廿日ス







標識課 服務係 中 五 十八

野島崎燈台

五月分俸給支拂通知書内譯ノ件

本件当台五月分俸給トシテ御送付ノ歳出金支拂通知書

五二八五、十八年五月二十日付金額百九拾九圓九拾貳錢(園田清光)  
ハ七記通、不符号ニテ剩余金有之候條内記御報被下度

記

俸給(園田清光)

家族手当

臨時手当

所得税

園田清

八三、三〇

二〇、〇〇

一八、五〇

二、五〇

手先剛

六六、六二

一〇、〇〇

六九、〇〇

三、〇四

合計一八一、七八

支拂通知書

199.92

181.78

18.14

剩余金 18.14

第ニニ號ノ内

18. 31

野島塔子

服務係



長生  
運  
運  
運  
運

28<sup>5</sup>  
83.30  
67.62  
99.1  
199.92

7 園 回 8100  
平 心 6900  
園 地 1000  
24

昭和拾八年六月四日  
昭和拾八年六月五日 处理人

燈臺局

昭和拾八年五月分市外電話料調書  
一金七圓參拾五錢也

但左記内譯通

昭和拾八年六月壹日

長心得園田清


航路部長 安田文助殿

電話料

記號  
番號

をほは八九四三番

印附日出振



一金五圓拾錢

本交領證書ハ金貨ノ拂戻又ハ再度證書ノ請求及其ノ他ノ請求ノ爲  
ニ場合ニ於テハ其ノ切手ヲ證明スル爲メ必要ニ付大切ニ保存相成度也

通話元備考  
新田

第

二  
四  
號

一  
〇  
一  
五  
〇  
一  
六















東  
五  
號

電報料金納入通知書

日付印	事由	金額	納入者	通知書番號
	但シ昭和二十八年五月分電線託送電報ニ關スル料金 右昭和二十八年六月二十日迄ニ當局ニ納付	八千五百八十錢六拾五錢	燈名馬	第一〇號 者當 印務
				

裏面白紙

野島  
 輝夫 燈臺 6月分俵給、難場手當、家族手當、賞與

氏名	俵給高	控 除					差引支給高	備 考
		國庫納金	所得稅	保險金	返濟金	慰問金		
<del>中江末</del>	<del>9500</del>	<del>150</del>						
岩雄 岡野繁	5000	100	3-6	200				
計								

裏面白紙

裏面白紙

燈臺局

第四二號

報告

昭和拾八年六月廿八日

野島崎燈台長心得

園田清

横浜出張所會計係殿

石油類直接購買ニ関スル件

對海航橫第ニ五八號(一八六、三二)

本台近傍ニ於ケル石油類購買可能ノ高店ニ取扱所  
皆無ニシテ現地購入不可能ニ就キ宜敷御諒承相成度

外  
三  
又

敬

昭和拾八年六月廿六日

海坑續第 二五八號

昭和十八年六月二十二日

航路部 續濱出張所會所係

各所長 殿

石油類直接購買ニ關スル件

本件自下請渡ノ情勢ニ鑑ミ各所ニ於テ左記品種及所要数量ヲ  
直接購買可能ノ地ニ於テハ直接購買ノ方針ト致度ニ付能不能  
ヲ速急取調ノ上折返回報相成度

記

一	號	石	油
二	號	石	油
重		油	
檢		油	

昭和拾八年六月廿八日 關 教 人

海坑ノ内

裏面白紙







昭和拾八年六月拾貳日

海航標第二二〇七號 通

牒

昭和十八年六月八日

保 識 課 長

野 島 崎 燈 臺 長 殿

蒸溜水空瓶運搬費ノ件

對房野第三六號 (六三) 伺

本件認可セラル

燈臺局 共第十五號ノ

裏面白紙

第二  
八  
號

裏面白紙

燈臺局

次野筆三六號

昭和拾八年六月參日

郵務總局長心得 園田清

航路部長 安田文助殿

燕溜水空瓶運搬費ノ件

函所房野第三四號伺(五三) 昭和十八年度直接購買品中

燕溜水ニ四。並用

本件燕溜水ハ空瓶引換ニラサシハ直接購入致難ク館山市並  
別紙見積書ノ金額ヲ以テ專決執行致スニ就ス  
事後少承認相成度

第三八號ノ内



09



第 _____ 號		修繕物品受領書			物品整理區分
品名	數量	物品番號	請求年月日	昭和	年 月 日
又トフノヤナフ	1個		請求元	聖島塚	灯台
備考					
上記ノ通受領ス					
昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日					
監理課調度係主任					

昭和拾六年十二月廿六日

第九號

裏面白紙

會第四十五號(乙)



16.12.13  
庫

第 _____ 號		修繕物品受領書		物品整理區分	
品名	數量	物品番號	請求年月日	昭和	年 月 日
回路試験器	1台		請求元	野島塚	台
備考					
上記ノ通受領ス					
昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日					
監理課調度係主任					

昭和拾六年十二月廿六日

川口

裏面白紙

會第四十五號(乙)

月日區分種別通話料金件名通話先通話元備考

記號  
番號  
をほは九〇七參

附日出振

1875

一金五圓五錢

米受領證書、為替本、拂戻又、再度證書ノ請求及其他ノ請求ヲ為ス場合、差出人タルコトヲ證明スル為必要ニ付、保付田成度候。

昭和十八年六月分市外電話料調書

一金五圓五錢也

但左記内誤通

昭和拾八年七月壹日

新島崎町長心得 園田清

航路部長 山田文助殿

月日區分種別通話料金件名通話先通話元備考

下	田	合	下	老	下	通話元	備考

燈臺局

昭和十八年六月分市外電話料調書

昭和十八年六月分市外電話料調書  
一金五圓五錢也

但左記内訳通

昭和十八年七月壹日

新島崎 長心得 園田清

航路部長 安田文助殿

月日	区分	種別	通話数	料金	雑件	通話先	通話元
二	私	普通	一	〇一五	館山	木下	
三	〃	〃	一	〇一五	館山	手老	
六	〃	〃	一	〇一五	館山	木下	
八	〃	〃	一	〇五五	丸の内 五六之四	川合	
〃	〃	〃	二	〇一〇	横浜本局	園田	
九	〃	〃	一	〇一五	館山	木下	

備考

燈臺局

昭和十八年六月分市外電話料調査

月日	区分	種別	通話数	料金	件名	通話先
九	〃	〃	一	〇.一五	〃	館山
〃	〃	〃	二	〇.二〇	〃	横須本局
八	〃	〃	一	〇.一五	〃	九内
〃	〃	〃	一	〇.一五	〃	館山
六	〃	〃	一	〇.一五	〃	館山
〃	〃	〃	一	〇.一五	〃	館山
三	〃	〃	一	〇.一五	〃	館山
二	私	普通	一	〇.一五	〃	館山

昭和十八年六月分市外電話料調査  
 一金五圓五錢也  
 但左記内誤通  
 昭和拾八年七月壹日

航路部長 安田文助殿  
 長心得





四四 引継報告書

昭和拾八年七月八日

引継者 物品保管主任 園田清

引受者 物品保管主任 根岸祥男

物品會計官吏殿

昭和拾八年七月八日 現在

物品ヲ相當帳簿ニ照シ引継ヲ了シ候


燈臺局

裏面白紙



第  
三  
三  
號

書知通入納金料報電託



日付印	由 事	額 金	人付納	番 號	通知書
	但シ昭和十八年七月二十日迄ニ當局ニ納付相成度	貳円也	野島崎灯台	第 三 〇 號	當 務 者 印

東京地方郵便局

裏  
面  
白  
紙

三  
四  
號

託送電報料金納入通知書

日付印	事由	金額	人付納	番號	通知書
 	但シ昭和 右昭和 年 年 月分電線託送電報ニ關スル料金 月々十日迄ニ當局ニ納付相成度	貳拾壹圓	野島源行 氏	第 四一 號	當 務 印

裏面白紙





第  
號

第 179 號

修繕物品受領書

物品整理區分 備品

品名 數量 物品番號 請求年月日 昭和 18 年 6 月 14 日

計時器

請求元 野島崎燈臺

備考

上記ノ通受領ス

昭和 年



監理課 調度係主任

保 三 五 號

第四十五號

庫

第

號

第 128 號

修繕物品受領書

物品整理區分

品名	數量	物品番號	請求年月日	略記
クラシメタル	1 組		昭和 18 年 11 月 1 日	野島崎灯台

備考

上記ノ通受領ス

昭和 18 年



監理課 調度係主任

修繕物品

會第四十五號(乙)

めくれず

三木

庫

第 183 號

修繕物品受領書

物品整理区分 備品

品名 數量 物品番號 請求年月日 昭和ノ年ノ月ノ日

ストップウォッチ

請求元 野島崎燈臺

備考

上記ノ通受領ス

昭和 年 月

庫

和森燈 州史 監理課調度係主任

會第十四卷乙

183

綴 川 又 器

めくれず

第 331 號



物品受領書

昭和 年度

物品整理區分 昭和十八年度 消耗品

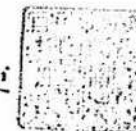
品名	單位數	量	物品番號	返納者	返納年月日
襟章組	2			野島琢灯	昭和十八年七月廿四日

上記ノ通受領ス

昭和 年



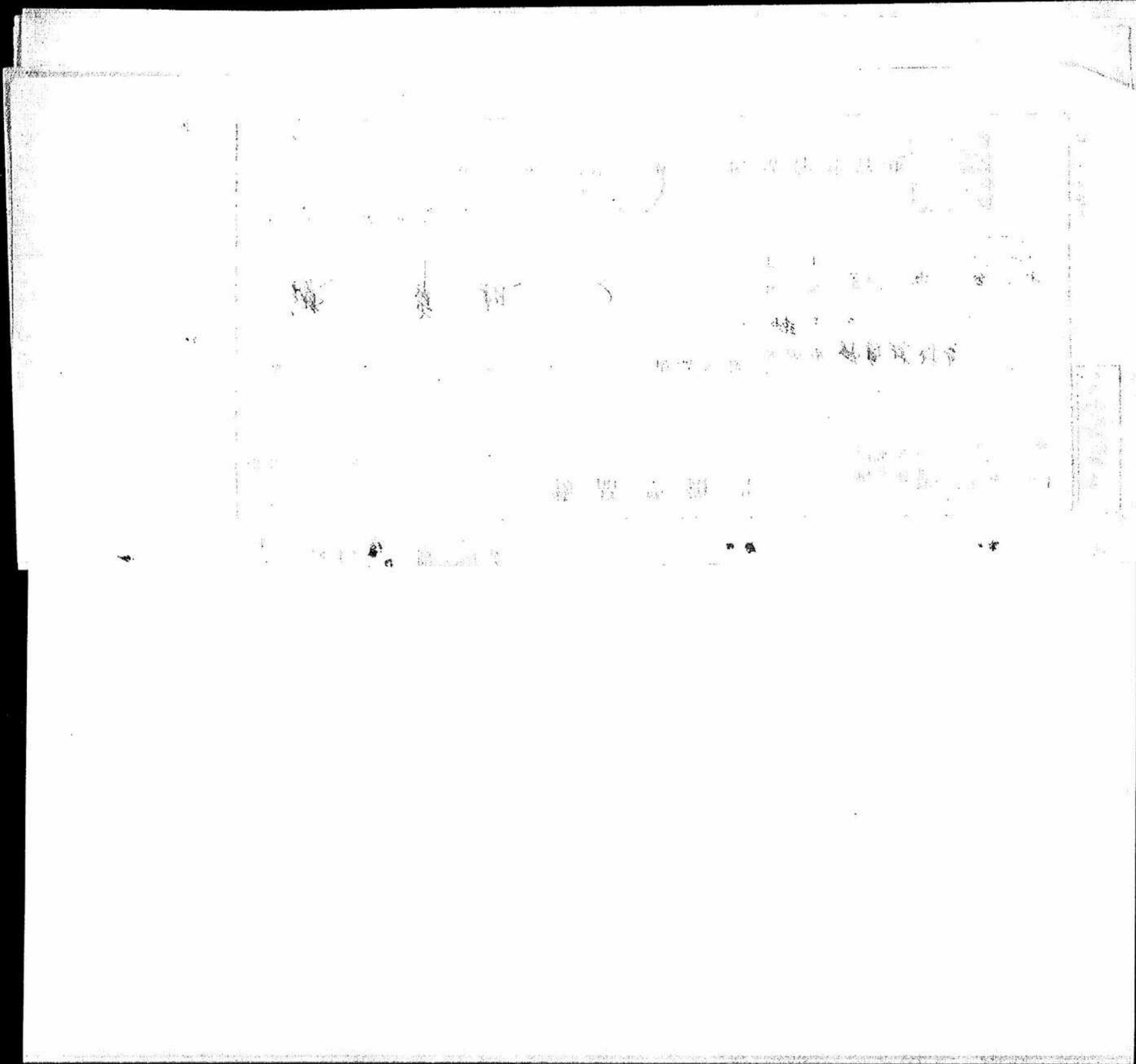
物品會計官吏

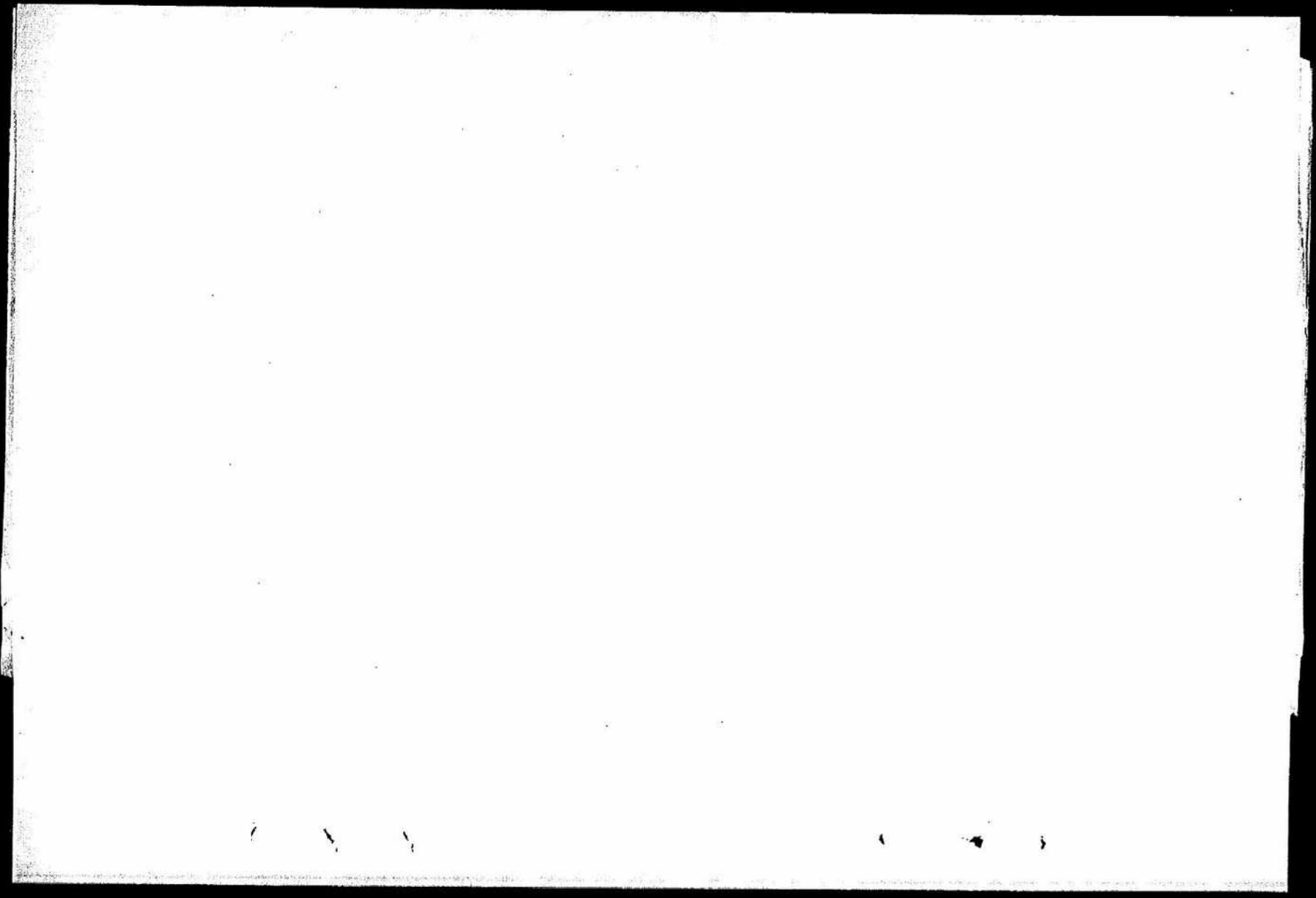


會第五十六號

めくれず







燈塔局

第 號

物品保管換報告書

昭和 / 年 / 月 / 日

保管換元 球島燈台物品保管主任 標識技手 根岸祥男

保管換先 海務院燈台官吏養成所

保管換 昭和 / 年 / 月 / 日 補助簿登記

物品出納命令官 殿

所屬費目

物品整理區分 備品

品名	單位	數量	運送便別	備考
釜	個	/	運送特便	

川九號

裏面白紙

裏面白紙

昭和拾八年八月四日

野島崎燈臺御中 八三

横浜市中央区北仲通六丁目六十四番地

燈台官吏 處所

金保管轉換ノ件

曩ニ保管替ノ目的ヲ以テ金(五升焚)壹個  
送付相成候處物品整理上物品保管替調書作製提出サ度  
追而帳簿調書提出ノ目ヲ以テ備考詳記上拂出整理相成度

昭和拾八年八月六日 保管換入

第三九號ノ内





裏面白紙

昭和拾八年七月廿壹日

野島埼燈台御中 七二九 海務院燈臺官更養成所

金保種轉換一件

貴官備置中 鉄製金(五件焚干用) 志個有之趣主  
候下小當所 於下生徒炊事用ニ使用致度ニ付  
貴官 於下差又工之無クハ嚴重荷造也 上至急之運  
所相成度候

追之可保種轉換ノ手續何レ致度其ノ際ニ通知

致可候

昭和拾八年七月廿貳日 金保送又々

第三九號ノ内

第  
四  
〇  
號


小島信託會社領受證書

記號  
番號

左ほは九參拾五錢

一  
金  
拾  
參  
圓  
參  
拾  
五  
錢

印附口出取



本會社信託書ニ爲替金ノ拂戻又ハ再度證書ノ請求及他ノ請求ノ爲  
ス場合ニ出立人ノ印ヲ證明スル爲メ必要ノ付大切ニ保存相成度候

月  
日  
区  
分  
種  
別  
通  
糞  
料  
金  
件  
名  
通  
話  
先  
通  
話  
元

航路部長 安田文助殿

野島崎 榎台長 根岸祥男

昭和拾八年九月壹日

昭和十八年七月分八月分市外電話料調書  
一金拾參圓參拾五錢也  
但左記内訳ノ通

園	3	3	3	千	園	田
田				光		

備考

燈  
臺  
局







月日	八	五	七	九	二	八	〇	二	二	六
私用	私用	私用	私用	私用	私用	私用	私用	私用	私用	私用
種別	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通
通話	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
教料	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二
金	一五	四〇	四〇	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
件名	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件
通話先	館山	館山	館山	館山	館山	館山	館山	館山	館山	館山
通話元	根岸	根岸	根岸	根岸	根岸	根岸	根岸	根岸	根岸	根岸
備考										

燈 臺 局

月日	八	八	六	四	二	〇	六	五	三	二	〇	八	〇
私用	私用	私用	私用	私用	私用	私用	私用	私用	私用	私用	私用	私用	私用
種別	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通
通話	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
教料	〇	〇	一	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
金	一五	一五	一〇	一〇	六〇	五〇	五〇	三〇	五〇	五〇	五〇	五〇	六〇
件名	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件	雜件
通話先	館山	館山	館山	館山	館山	館山	館山	館山	館山	館山	館山	館山	館山
通話元	手光	川合	手光	手光	手光	手光	手光	手光	手光	手光	手光	手光	手光
備考													

共 一 號





裏面白紙

昭和拾八年九月九日

海統積第三五三號

通 達

昭和十八年九月一日

横濱出張所 會計係

各 燈 台  
信 號 所 長 殿

各所物件ニ關スル件

各所物件ニ關シテハ從來官房庶務課ニテ處理中ノ處今般當横濱出張所  
會計係ニ於テ繼承ノ上其ノ支拂ニ至ル迄處理ノ事トナリタルニ付テハ  
今後物件ニ關スル限リ當所宛ニ直接書類提出相成度  
尙從來ノ未解決事項アラバ「再提出」ト朱筆ノ上一應書類ヲ全部ヲ至  
急提出相成度

第四一號



裏面白紙

昭和十八年九月九日

燈臺局 共第十五號ノ二

海航債第三九八號

昭和十八年九月二日

横濱出張所會計係

野島崎 燈台長 殿

乾電池外十三點購買ノ件

附房帳第三四號

本件認可セラル

但シ草履十足ハ必要認メラレザルニ付除外ノコト

昭和十八年九月九日 該券後永苗納メ命令 物主後永苗為送附

第四二號



昭和八年九月十日

野島靖雄台長

根岸祥男

標識課 御中

横濱出張所會計係 御中

乾電池外十三具購買ノ件

一 房野第三四部同(一八五三)

一 第五八五九部同(一八九四)

關係

本件曩ニ購買方同去其外其台御忍可無量、最近業者より至急  
 決定あり方請求あり、現在御在津品索却台、同以入荷、且此標記  
 シ得中、与ノ申出、コノ概余ノ逸シ購入不能トナリ、ノ事業遂行上、  
 支障ヲ来スル懼、有注意ニ付、標格之有爲、トシ、其旨ニ付專以購  
 買ノ玉、續ク、ナシ一件、書類(請書、代金請求書、物品納入命令書、  
 號物振込書)進達、候、処、今般、可、通際、接シ、至、條、

第四二號

燈臺局

改メテ法書法永書等一件書類提出致スル書等付房所  
等五八紙拂込付一件書類ハ(中)贖買不認可品々全額其他  
訂心ヲ要スル付)全部御取消破棄相成次

裏面白紙

燈臺局

五九

届

昭和拾八年九月四日

郵島城區台紙

根岸祥男

航路部長安田丈助殿

乾愛地外十二莫購買ノ件

房野茅三四郷(二八五三)伺南條

本件本年度物品要求書中直接購買予定品ヲ具務者  
 添付同出候ニ以認可ナリシ儘ニ相成候事ハ是務者提出者ヨリ  
 至急引取方法有之尚今后ハ所見ハ保証致シ兼ホル旨申  
 出有之ヲ概會々逸シ購入不能ノ陥リテハ事業進行ノ又障ノ生ズル  
 懼レ有之量ニ早專決購入致意希 御承認相成後

第四二號ノ内

76/2

### 見積書

遠名、外見積書提出  
スルモノナシ

乾電池外ノ見積高

金 4963

内 譯 見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
乾電池	ナショナル 大型 4.5V	5個	37	185	安全灯用
金	受信機 C電池用 4.5V	2	37	74	
インキ	アタ印 大瓶	4	120	480	青 3 赤 1
蠟燭	大	10本	20	200	
防虫剤	ホトゲン	0.2箱	325	65	
ペン先		38本	23	114	
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

年 月 日

燈臺局御中

線 号 11 第 1 号

會第三十九號

裏面白紙



7694

見積書

金

見積高

内 譯 見積人 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
ハノ軸		3本	10	30	
塵拂		4本	25	100	
蚊取線香	金鳥印	30箱	40	1200	
草履	ゴム底 普通品	10足	200	2000	
鉛筆	三菱 H.B	15本	05	75	
眞鍮磨	ピカール印	2研	220	440	
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

昭和18年9月1日

千葉縣安房郡白浜町三四七番地

燈臺局御中

大平 桂松

會第三十九號

裏面白紙

裏面白紙

燈臺局

五八六

届

昭和拾八年九月四日

野島博雄台へ 根岸祥男

航路部長 安田丈助殿

蒸溜水購買一件

房野第三四号(一八五三)伺関係

本件本年度物品要求書中直接購買予定品三具積書添付  
伺出候処購入方御認可無之候。在庫品も僅少相成、機舎  
逸不トキハ購買不能相成、事業執行に支障ヲ来スル惧  
有之矣。孰キ專快購入致候糸、御承認相成度

第四二號ノ内

見積書

壹名外見積書  
提出2021.11.2

金 4620

蒸溜水見積高

内 譯 見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
蒸溜水		240升	385	4620	蒸溜水補充用
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

千葉県安房郡白浜町三田七二番地

昭和18年9月 / 日

燈臺局御中

大平 桂 松

會第三十九號

裏面白紙

標 記

裏面白紙

燈臺局

大正第三 四 號 伺

昭和拾八年五月卅日

野島河原台六心得園田清

航路部長 安田文助殿

乾電池外十三具購買ノ件

昭和十八年度物品要求書中直接購買予定品、別紙見積書、金額ヲ以テ購買致度 御認可願上候

第 四二 號ノ内



見積書

金

95 83

乾電池外見積高

見積書提出セル工ノ  
1名1他ナシ

内 譯

見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形状寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
乾電池	ナショナル 大型 4.5V	5個	22	110	安全燈用
合	受信機 C電池用 4.5V	2個	22	44	
✓ インキ	アテナ印 大瓶	4個	20	80	青 赤
蠟燭	大型	10本	20	200	
✓ 防虫剤	木ドゲン	0.2瓶	25	5	
✓ ペン先		38本	03	114	
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

年 月 日

燈臺局御中

會第三十九號

裏面白紙

見積書

1329

金

見積高

内 譯 見積人 人

品名又は名稱	品質形状寸法 仕様又は摘要	數量	單價	小計	備考
✓ ペン軸		2本	10	20	
✓ 塵拂		4本	25	100	
蚊取線香	金鳥印	30個	40	1200	
草履	ゴキウ底 普通品	10足	200	2000	
鉛筆	三菱H.B.	15本	05	75	
✓ 真鍮磨	ピカール印	2玉	220	440	
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

年 月 日

燈臺局御中

會第三十九號

裏面白紙

見積書

金

見積高

内

譯

見積人

人

品名又は名稱	品質形狀寸法 仕様又は摘要	數量	單價	小計	備考
蕪溜水		240箱	385	4620	
合計				4620	

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

千葉県安房郡白濱町三四七二番地

昭和1年5月30日

燈臺局御中

大平桂松



會第三十九號

裏面白紙

裏面白紙

昭和十八年九月九日

燈臺局 共第十五號

海統機第三七四號

昭和十八年九月二日

横濱出張所會計係

野島崎 雄資 殿

本券外 一點 購買ノ件

附房野 第三八號

本件認可セラレ

昭和十八年九月廿日納入済請書請求書納入命令書物取消請求書送附

第四三號



裏面白紙

燈臺局

原簿五五 伺

昭和拾八年九月參日

野島崎燈台長

根岸祥男

航路部長安田文助殿

木炭外一莫購買件

本件原野三八脚(二六六七)伺ニテ伺出候。未ダ御認可指示  
 二接々候処木炭薪如キテハ割當取給ノモノ有之割當決定  
 際購買不確定、七ノ除外ナル。懼レ有之割當決定后申込  
 入手困難、状態有之候條至急指示仰度  
 事初テ伺出候

第四三號ノ内

(昭和八年度)

53.2.11  
2.2  
10656  
10656  
117.218

第四三流人薪

附録第三 八端

伺

昭和拾八年六月七日

燈臺局

時局局長 園田清

航路部長 安田文助殿

木炭外一矣購買ノ件

昭和十八年度七認定額燃料別紙見積書ノ金額ヲ以テ  
購入致度

追而本年度石炭ニ二〇。珉ハ當地ニ於テ入手困難ト  
認メ候ニ就キ 昨年度ノ例ニ倣ヒ石炭購入代金  
百拾七圓貳拾貳錢ニ略々等シキ範圍内ニ於テ薪ヲ

購入代用致度

木炭

一〇。五珉 事務室及霧信需用

薪

二〇。把 無線當直用

薪

一〇。把 無線機器乾燥用

以上

東通經理部  
經費第三五二五號  
四月三十日 依ル割当量

裏面白紙

見積書

金

129 33

薪外/見積高

見積書提出日  
1名/外ナシ

内

譯

見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
薪	圓3尺 松長1尺寸	300把	38	114.00	
炭(木)	雜木炭 黒芝等	105把	146	15.33	
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

昭和 年 月 日

燈臺局御中

千葉縣安房郡白浜町白浜台町  
星野八右工門

會第三十九號

裏面白紙

興田川

裏面白紙

昭和十八年五月八日

經資第三五二五號

昭和十八年四月卅日

東京遞信局經理部長

野島崎 殿

昭和十八年度官需薪炭割當ニ關スル件

昭和十八年度費局所官需用薪炭左記ノ通り割當決定致候條入手方手配相成度

尙時局下木炭事情ハ相當運シ居レルニ付早期確保ニ努メラレ度

普通木炭

上期  
下期

計

備

考

薪

鐵工業用木炭

三〇

七五

一〇五

第四  
三〇號ノ内



裏面白紙

燈 臺 局

請 示 書

一金拾圓也

公文筆送用郵便切手類購買代

内 訳

金 五圓也

五錢郵便切手百枚

金 參圓也

參拾錢郵便切手拾枚

金 貳圓也

拾錢郵便切手貳拾枚

右代筆立替へ購買致候間御交付相成度候也

昭和十八年十月七日

野島崎燈台長

標識板手 根 奔 祥 男

支出官海務院長官殿

第 四 四 號

裏面白紙

海務院

海流嶺第五七五號

昭和十八年十月二十八日

昭和十八年十月一日

廣瀬出張所會計係

野島崎 運台長 殿

石炭割當ニ關スル件

謝房野 第七三 號伺

既ニ本年度用トシテ薪購入濟ノ上ハ經理ノ都合モ有リ石炭ノ購入  
見合セラレ度

尙來年度ノ割當ハ當方ヨリ官房ニ申請シタル數量ヲ基礎ニ割當  
決定セラルル様連絡濟ニ付實績等ノ心配ハ不必要ニ有之候

第四五號



裏面白紙

七三 伺

昭和拾八年拾月拾七日

燈臺局

町島鴻臺台長 根 小 祥 男

航路部長 妹尾知之殿

昭和十八年度下半期官需石炭割当の件

本件別紙如ノ事業用トシテ石炭六五割当方官需石炭務課長  
ヨリ面知有之矣然 当台ニハ量販ニ石炭入手不能見込ニテ新購入  
者ニ至得共如何処置致スヤ 又本年度ニ程テ購入セサレハ  
実績皆無トナリ来年度購入ニ支障来タス惧レアル中ニ思考セラレテ  
條々急可分ノ御指示煩々度

第四  
號ノ内

海官需第三三八號

昭和十八年十月十日

官房庶務課長

野島崎燈臺

昭和十八年度下半期官需石炭割当（周知件）

本年度下半期貴局所之要石炭（左記）直割当規程を條  
了の上、都府縣石炭株式会社連絡改訂入手亦可然し取計相成り

記

事業用

貳七

取扱要項

一 本改訂各都府縣石炭株式会社（同文書並稱）以下、貴局所

號ノ内、用金別割当量報告書を配給す。依りて、



二 今朝相与量取守之が不足分付る絶封特配ヲ行ハケル趣、付清算節約、  
付テ一層以意ノ一

三 改任ノ右及勇於世以之繼ニ若行孫石炭株式会社及配給所ハ絶エス  
際奈乙連絡ヲモ実行上遺憾ナキ様取計ノ事ト

四 使用尚付、於テハ海官等ハ三冊(一八、四、二八)同様、依ル報告ハ期日迄、  
必ズ報告ノ一

第四台號

七	二			九一	月日
	私用		官用	私用	區分
				普	種別
走	式	式	走	走	函送數
六	走式	參	走五	走五	料金
	雜件		物品 見檢 件	雜件	件數
	一〇。五	一五三	一六	一六	通送先
川合	手光			根岸	通送元
					備考

昭和十八年十二月四日

一金八圓拾五錢  
但左記内込通

昭和十八年九月十日分市外電話料調書

海運局長 新谷富三郎 殿

野島河野台長 根岸祥男

燈臺局





昭和拾八年九月九日

燈臺局 共第十五號之二

海航機第四〇二號

昭和十八年九月二日

横濱出張所會計係

野島崎 燈台長 殿

椅子修繕材料ノ件

謝房野 第二八號

本件認可ナラ

昭和拾八年十月廿壹日執行前請書請求書

第四七號

裏面白紙





裏面白紙

燈臺局

資料等ニハ

伺

昭和拾八年五月拾參日

對島崎燈臺長心得園 田 清

航路部長 安田文助殿

椅子修繕ノ件

本台事務用椅子永年使用ノ結果キケンノ擦損座部  
クシヨン毀損脚部地ミヨ生シ到底使用ニ堪ハサル状態ニ  
有之本年第四回視察ノ際見積書ヲ微シ修繕方伺出ル  
程指示アリタルニ就キ別紙見積書ノ通り修繕致度  
御認可願上候

第四七號ノ内

見積書

金 42,000

椅子修繕見積高

見積提出者ノ名、外ナシ

内 譯 見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
椅子修繕	キヤン後座クワシ 修理脚部繕付	7脚	6,000	42,000	材料費並ニ職工 費ヲ含ム
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

昭和18年5月10日

燈臺局御中

千葉縣飯沼市五條1729  
飯沼鐵行

會第三十九號

券日V號

裏面白紙

第 四 八 號

八 四 號

昭和拾八年三月拾七日

燈 臺 局

海運總局總務局經理課長殿

馬島海燈台長 根岸 祥男

衣料切符送付ニ関スル件

灯海島第ニ七ニ号(五二八)及海總經才二〇一三号(二八三三)

本件別紙調書ノ通、在勤者供出致候ニ付及送付候

裏面白紙

特殊郵便物受領證

引受番號 448

重量 証 郵便料 7 錢

(受取人の氏名) <u>海軍總司令部</u>	
(送附人の居所及氏名) <u>野島崎村 殿</u>	
(價格表記金額)	(摘要)
— 円	衣料の付送付
(代金引換金額)	
— 円	
此の受領證は損害賠償の請求をなすとき其の他種々の場合に必要でありますから大切に御保存下さい	

2 年 2 月 20 日引受

千葉縣小戸郵便局

海軍總司令部

官職名 氏名 年齢 性別 職業

衣料切符供出調書

備

考

実 実 実 実

燈臺局





裏面白紙

海運總局第二〇一二號

昭和十八年十二月二日

海運總局總務局經理課長

野島 堦

燈臺長 殿

衣料切符送付ニ關スル件

右ニ關シ昭和十七年五月十八日海官調第七二二號海牒ニ依ル本年度後期  
衣料切符采着ノ爲處理上支障有之ニ付至急當課請度係宛書留ニテ送付相  
成座

昭和十八年六月五日

第四八號ノ内

海運線第一二五號

通 牒

昭和十八年十一月二十七日

標 識 誤

昭和十八年五月廿七日

燈 臺 御 中

極給支給日ニ關スル件

今般大藏省令第百十二號ハ昭和十八年十一月二十五日運輸通信公報運輸  
版第二十號參照一ヲ以テ文官極給支給細別中改正セラレ運輸通信省所管  
ノモノハ毎月二十二日ヲ支給定日トシ昭和十八年十一月十九日ヨリ施行  
ノコトト相成候條了知相成度

第四九號





昭和拾八年十月十二月分市外電話料調査  
一金七圓四拾五錢

但記内訳通

昭和一八 海運局長新右衛門三郎殿 根岸祥男

月日	區分	種別	通話數	料金	件名	通話元	備考
二二	公用	普通	三	壹八〇	養父生後 合宿費四件	一〇〇五	根岸
〃三	私用	〃	二	參〇	雜件	六五	木曾
〃四	公用	〃	一	貳〇	水給初表 二〃表調 特設費 二〃表調	〃〇〇五	根岸
〃二八	私用	〃	一	六〇	雜件	一〇〇五	〃
〃三一	〃	〃	三	壹八〇	朝勤件	〃	堤坂
〃三八	〃	〃	五	貳七五	雜件	三八六五	木曾

第五〇號 備考 添付の表等金額四圓五拾錢 若干は厚紙の〇一三

裏面白紙

燈臺局

昭和十九年分

番 號 件 名

第一號 所得申告書 1件

第二號 委任狀

第三號 右 1件

第四號 軸先金物修理 1件

第五號 市外通話料調書

第六號 託送電報料金納付通知書

第七號 物品組替調書 1件

第八號 戰時勤勉手當調書 1件

第九號 市外電話料調書 3件

第十號 5件

自轉車修繕 1件

第一二號	送電報料全納入告知書
第一三號	インキ外七件直接購買ノ件
第一四號	技術多赴任旅費ニ添スル件
第一五號	市外電話料調書六月八日
第一六號	時計修繕ノ件
第一七號	木炭購買ノ件
第一八號	タンカーバルブ保管換ノ件
第 號	
第 號	
第 號	
第 號	
第 號	
第 號	
第 號	

共 一 號

燈 臺 局







共第一號

支拂者	海運局 津		住所	氏名	官職
職分	給與位	支給金額	課	年	日
俸給	125	1500	支拂年度	18.6.25	
賞與	上半期	188	支拂年度	18.12.10	
勤勞	月30	360			
勤勞	月250	150			
基礎控除額	600		扶養控除額	600	
基礎控除額	50		扶養控除額	274206	36000

標誠 投手  
根山 祥男  
千葉縣 安房郡 白浜町 六三〇

支拂者	海運總局 海運局		住所	氏名	官職
職分	給與位	支給金額	課	年	日
俸給	501	600	支拂年度	18.6.25	
賞與	上	15	支拂年度	18.12.10	
勤勞	下	82			
勤勞	月5	60			
基礎控除額	600		扶養控除額	0	0

標誠 投手  
岡野 若雄  
千葉縣 安房郡 白浜町 六三〇

支拂者	海運總局 海運局		住所	氏名	官職
職分	給與位	支給金額	課	年	日
俸給	月45	180	支拂年度	18.12.10	
賞與	下半期	56			
勤勞	月45	58			
基礎控除額	200		扶養控除額	200	0
基礎控除額	18.9		採用		

技術員  
木曾 善次  
千葉縣 安房郡 白浜町 六三〇

第一號

支拂者	海運總局 海運局		住所	氏名	官職
職分	給與位	支給金額	課	年	日
俸給	月40	800	支拂年度	18.11	採用
賞與	勤勞	月45			
勤勞	月45	800			
基礎控除額	100		扶養控除額	0	0

技術員  
菅田 益実  
千葉縣 安房郡 白浜町 六三〇

支拂者	海運總局 海運局		住所	氏名	官職
職分	給與位	支給金額	課	年	日
俸給	月165	6015	支拂年度	18.6.25	
賞與	上	156	支拂年度	18.12.10	
勤勞	下	149			
勤勞	月15	180			
勤勞	月5	60			
基礎控除額	600		扶養控除額	134973	600

標誠 投手  
木曾 乙之吉  
千葉縣 安房郡 白浜町 六三〇

支拂者	海運總局 海運局		住所	氏名	官職
職分	給與位	支給金額	課	年	日
俸給	月42	420	支拂年度	18.6.25	
賞與	上	51			
勤勞	月20	142			
基礎控除額	600		扶養控除額	122310	0
基礎控除額	18.10		特殊		

技術員  
川合 萬生  
東京府 豊島区 西巣鴨 一七〇

裏面白紙

裏面白紙

道第六八五号

昭和十八年十二月二十日

館山稅務署長

殿

昭和十八年分俸給給料賞與、支拂調書提出方件  
標記(件)之別紙、通付送付致候條左記事項御留意、上  
末日迄、必ず提出相成度  
右及通知候也

一 支拂調書、裏面注意事項、必ず御参照相成度

一 一人別調書、八枚後寫二枚、中二枚(厚薄各一枚)、  
一、二枚(薄一枚)を貴所ニ保存相成度

一 支拂調書、一人別調書、十八枚、一括添付、上提出相成度

第一  
就内則根、一月三十一日、六時、二時、三時、四時、五時、六時、七時、八時、九時、十時、十一時、十二時、

裏面白紙

燈臺局

委任狀

今般野島崎燈台長ヲ以テ、代理人ト定メテ、權限ノ事ヲ代理為教候ニ付御届候也

一 燈台局ヨリ支給ノ給料、并當及費與金等請求及領收ニ関スル事

一 右代理人ノ都合ニ依リ更ニ復代理人ノ選定ヲ為スコト

昭和十九年三月二日

技術員 天熊 孝

木曾 吾郎

白井 幸雄

第

號



裏面白紙

燈臺局

委任函

今般燈臺局主計係長ヲ以テ代理人ト定メテ其ノ權限事ヲ  
代理為致候ニ付御届候也

- 一 燈臺局ヨリ支給ノ俸給々々料額ノ内金支圖請取及  
領收ノ上燈臺會々毎月會費トシテ拂込ハコト
- 一 右代理人ノ都合ニ依リ更ニ復代理人ノ選定ヲ為スコト

昭和十九年二月廿四日

根岸祥男  
岡野 嘉雄

第 三 號

裏面白紙

燈臺局

委任 届

今般野島坊燈台長ヲ以テ代理ト定メテ、権限ノ事ヲ代理為教候ニ付御届候也

一、燈台局ヨリ支給ノ俸給、毎月支給額ノ内全壹圓也ヲ控除シ、残額、申当及費與金等請求及領收ニ付スルコト

一、右代理人、都合ニ依リ更ニ復代理人、選定ヲ為スコト

昭和十九年二月廿四日

岡野 岩雄

第三號ノ内

裏面白紙

昭和拾九年貳月廿四日

第 八 號

昭和十九年二月十六日

農務局 謹 啟

各 所

委任職ニ關スル件

農務官制公布ニ依リ新ニ委任職ヲ提出スルニトシテ補任職ニ依テハ本  
三八號付月廿七日七六三號通知（注）通知案第一項一四「自來水」乙類及  
式ニ依リ各一選任提出相成度  
相予任職式申「監理部長」トアルハ「主計官」ト改メラレ度

第 三 號ノ如

裏面白紙

燈臺局

報告

昭和拾八年三月拾八日

海運局長 新台 寅三郎殿

野島崎燈台長 標識技手 根奔 祥男

軸先全物修理ノ件

當台回轉機械最近折石工合トナル事アルニテ今解調査致候處 堅軸ニ嵌入セル軸先全物磨滅シ圓形トシテ先端カ殆ト水車トナリ候事ニツキ特品ト交換セントセシニ特品ハ稍至大ナル為ノ嵌入セズ 特品ニ取付不能ニ至糸別紙見積書費額ヲ以テ當他技工所ニ於テ旋盤ニテ切削致シテ亥條右御承忍相成度尚軸先全物交換後ハ回轉工合良好ニ有テ候

昭和拾九年三月拾六日 歲末全長松直行書接受合旨迄至人へ交付

第

四

號





見積書

金 5000

見積高 産名/外見積与控生スルモノナシ

内訳 見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
回轉機械用 軸先全物修理	堅軸換入ノ様 旋盤ノ切削	3本	125	375	
"	磨減セリ先端 旧形ノ切削	1本	25	25	
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

昭和 18 年 11 月 17 日

千葉県安房郡白浜町三四七二番地

燈臺局御中

大 手 桂 松

會第三十九號

裏面白紙

録

目

録

第

五

昭和十九年一月二月分市外電話料調書  
一金四圓八拾五錢

但左記内課ノ通

昭和十九年一月拾七日

局長 根岩 一 祥男

燈臺局長 森田 富士助 殿

月	日	區分	種別	通話	料金	件名	通話先	通話者	備考
一	一七	公用	普通	二	三〇	於手金三振調書 件通金	館山二三一 根岩	根岩	
二	一四	私用		一	三〇	雜件	館山三六九 岡野	岡野	
二	一五			一	四〇		白井郵便局 木曾	木曾	
三	二五	公用		二	三〇	局長一行去台手 待領給付書件	千倉 根岩	根岩	
二	二六			三	四五	自働車取車依頼件 青函信等件	館山五五四 根岩	根岩	
二				一	四五	青函信等件	根岩	根岩	

燈臺局



121  
360



備  
奉

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一
補	用	公	用	普	通				
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸
根	根	根	根	根	根	根	根	根	根

一 補金公用金多圓方格  
 二 補金公用金多圓方格  
 三 補金公用金多圓方格  
 四 補金公用金多圓方格  
 五 補金公用金多圓方格  
 六 補金公用金多圓方格  
 七 補金公用金多圓方格  
 八 補金公用金多圓方格  
 九 補金公用金多圓方格  
 十 補金公用金多圓方格



託送電報料金納入通知書

日付印	事由	金額	人付納	通知書 番號	當務 印務
 	<p>但シ昭和十九年 三月二十日迄ニ當局ニ納付相成度</p>	<p>二月分電線託送電報ニ關スル料金</p>	<p>燈台局</p>	<p>第二二號</p>	<p>當務印務</p>

燈台局

裏面白紙



裏面白紙

燈臺局 共第十五號之二

燈臺第二四一號

野島

昭和十五年三月十六日

昭和十五年三月十六日

業務課

野島燈臺 御中

物品組替調書ニ關スル件

對一八六八及一八九二〇物品組替調書

本左記ノ通り處理相成度

ノ記

一雨量尺一個外三點ハ別紙組替調書指示ノ通り

電燈電池八個ハ適當方法ニテ本局宛返納ノコト

以上

第七

昭和九年四月廿日

511

第 49 號 物品組替調書

下記組替承認済ニ付指示ノ通處分相成度

昭和 年

會  
19.3.13  
計

燈臺局物品會計官吏

野島崎燈台 物品保管主任殿

物品整理区分	品名	單位	數量	調製年月	組替事由	處分方指示
備品	雨量尺	個	1	昭和5年10月	昭和7年度視察ノ際	不用品へ組替ノ事由ヲ以テ領簿提出スベシ但不用品へハ受入レザラセズ
金	針金鉄	個	1	昭和8年5月	不用品ニ組替伺出ノ指示	不用品へ組替ノ事由ヲ以テ領簿提出スベシ但不用品へハ受入レザラセズ
金	蓄電池	個	3	昭和5年10月	金	序便酒納スベシ
金	金	々	3	昭和1年3月	金	〃
金	金	々	1	昭和1年9月	金	〃
				年 月		
				年 月		
				年 月		
				年 月		
				年 月		
				年 月		
				年 月		

燈第三十九號

裏面白紙

解 入 帳

昭和拾九年四月廿日

第 50 號

物品組替調書

下記組替承認済ニ付指示ノ通處分相成度

昭和 年

會計  
19.3.13

燈臺局物品會計官吏



野島崎燈臺物品保管主任殿

物品整理区分	品名	單位	數量	調製年月	組替事由	處分方指示
備品	手摺	脚	1	昭和 年 6 月	17年4月修理指示	不用品へ組替ノ事由ヲ以テ領簿拂出 スベシ但不用品へハ受入レテ要セズ
〃	手摺	個	2	昭和 年 6 月	〃	不用品へ組替ノ事由ヲ以テ領簿拂出 スベシ但不用品へハ受入レテ要セズ
〃	蓄電池	〃	1	昭和 年 7 月	〃	序便返納スベシ
				年 月		
				年 月		
				年 月		
				年 月		
				年 月		
				年 月		
				年 月		
				年 月		

燈第三十九號

裏面白紙

録 〃 〃

裏面白紙

燈臺局

昭和拾九年三月拾九日

野島崎燈台

海運局横濱出張所

毀損物品組替三箇スル件

對海運横濱第一三號(一九二二六)

右件別紙通り、毀損物品銅書提出候條、可然、少取計  
相成取

號ノ内

第 七





第

七

第

海運横第一二三號

通

牒

昭和十九年一月二十六日

昭和十九年一月拾四日

横濱出張所

野島崎燈臺

御中

毀損物品組替ニ關スル件

對十八年六月八日附及九月廿日附

物品組替調書

本件十七年度分ヲ便宜當所ニテ處理致スベキ都合上必要ニ付組替伺出  
指示ヲ受ケタル毀損物品調書（寫）ヲ調製當所宛至急提出相成度

海務院

(4)

118

裏面白紙

裏面白紙

次野三九號

伺

昭和拾八年六月八日

燈臺局

時島海燈台長心得 園田 清

航路部長 安田文助殿

毀損物品不用品へ組替方伺出ノ件

昭和十七年度視察ノ際毀損物品御檢分願出タルニ不用品ニ組替  
伺出シ様御指示有之候ニ就キ同年五月拾四日物品組替調書  
提出致置候知未タ御指示ニ接セヌ処理上支障有之且年度  
ヲ異ニスル之ニ就キ 再度調書提出致候間  
何分格別御詮議方相煩度

號ノ内

第七

裏面白紙

燈臺局

毀損物品調書

昭和拾七年參月四日

物品保管主任 新田田郎

視察長 曾根仁平 殿

指示  
視察長

總品名	數量	調製年月	事由	處分指示
備品 雨量天	一個	昭和五年十月	永年使用	全備品 全備品 全備品
針金	一個	昭和八年五月	永年使用	
蓄電池	七個	昭和八年五月	永年使用	

昭和八年五月  
昭和八年五月  
昭和八年五月

全備品  
全備品  
全備品

昭和拾七年五月拾四日 物品組替調書提出

昭和拾八年六月八日 物品組替調書再變提出

昭和拾八年九月廿日

第七

號ノ内

裏面白紙

燈臺局

### 毀損物品調書

昭和拾八年貳月廿七日

物品保管主任

新田四郎

視察長 高木八右造 殿

指示通  
視察長

整理	品名	數量	調製年月	事由	處分方指示
備品	參拜椅子	一個	昭和十年六月	永年使用多	不用品之組替方 桐出ノ下
	平捻廻	三	大正十四年以前		全 右
	蓄電池	一	昭和十四年九月		全 右

昭和拾八年九月廿日 物品組替調書提出

號ノ内

第七



海運總局

總務局經理課經理 三十九

戰時勤勉手帳(個人用)

三月二日開會関係

野島 塚 燈 台

回答

十九年三月二日 岩倉 友成

北條 清 男 氏 へ 敬 意 申 上 せ ぬ 事 宜

以 下 可 出 回 答 岩 倉 友 成

有 意

昭和拾九年三月拾一日

第八號

雄分へ旨回答。接し候。又。岡野分。於。本。園。二。半。金。額。又。符。合。之。付。一。

全額金四圓を於分。根。本。洋。男。氏。

是。外。ア。リ。キ。ン。ン。キ。本。以。金。全。四。圓。於。分。

第八號ノ内



五がは郵便

Handwritten characters at the top of the page, possibly a signature or address.

海運總局

總務局 經理課 經理 中

十九 野島 塚 燈 台

戰時勤勉手帳 (三月二日) 野島 塚 燈 台

左記 戦時勤勉手帳 支拂通知書 八枚 技術員 木曾 吾郎 氏 於三月二日 戦時勤勉手帳 手帳  
三枚 昭利 氏 領金 (三月二日) 手帳 八枚 野島 塚 燈 台 領金 手帳 一枚 昭利 氏 領金 手帳  
昭利 氏 領金 手帳 一枚 昭利 氏 領金 手帳 一枚 昭利 氏 領金 手帳 一枚 昭利 氏 領金 手帳 一枚  
昭利 氏 領金 手帳 一枚 昭利 氏 領金 手帳 一枚 昭利 氏 領金 手帳 一枚 昭利 氏 領金 手帳 一枚  
昭利 氏 領金 手帳 一枚 昭利 氏 領金 手帳 一枚 昭利 氏 領金 手帳 一枚 昭利 氏 領金 手帳 一枚

本署 昭利 氏 於三月二日 戦時勤勉手帳 手帳 四月二日 昭利 氏 領金 手帳 手帳 昭利 氏 領金 手帳 手帳  
昭利 氏 領金 手帳 手帳 昭利 氏 領金 手帳 手帳 昭利 氏 領金 手帳 手帳 昭利 氏 領金 手帳 手帳

昭和九年四月廿日 完決

第八 虎ノ内

裏面白紙



東京  
 海運總局  
 事務局長 櫻田 武夫  
 事務課 課長 櫻田 武夫  
 庶務課 課長 櫻田 武夫



東京郵便局

第八號ノ内

海運總局

總務局 經理課 經理 中三

戰時勤勉手帳 (昭和三十四年三月)

左記 櫻田武夫 全支拂通知書 技術員 本曾吾郎  
 三ヶ所 昭和三十四年三月 (昭和三十四年三月) 事務員 本曾吾郎  
 根岸分ト合併 昭和三十四年三月 昭和三十四年三月 昭和三十四年三月  
 昭和三十四年三月 昭和三十四年三月 昭和三十四年三月 昭和三十四年三月

本曾吾郎 昭和三十四年三月分勤勉手帳 昭和三十四年三月分  
 昭和三十四年三月 昭和三十四年三月 昭和三十四年三月

昭和拾九年四月廿日 完次





第九

特殊郵便物受領證

引受番號 4810

重量 底 郵便料 27 錢

(受取人の氏名) 燈台局

(差出人の居所及氏名) 白濱の 野島塔燈台殿

(價格表記金額) (摘要)

(代金)換金額

此の受領證は損害賠償の請求をなすとき其の他種々の場合に必要でありますから大切に御保存下さい

19 年 5 月 9 日引受  
千葉県小戸 郵便局

右	全	右	全	右	全	右	全	右	全
雑件	雑件	雑件	雑件	雑件	雑件	雑件	雑件	雑件	雑件
通話先	通話先	通話先	通話先	通話先	通話先	通話先	通話先	通話先	通話先
通話者	菅田益美	菅田益美	菅田益美	菅田益美	菅田益美	菅田益美	菅田益美	菅田益美	菅田益美
備考									

昭和十九年三月四日分市外電話料調書

一金貳圓四拾五錢

但し左記内譯通

野島塔燈台長 根小祥 祥男

燈台局

昭和十九年五月五日  
 燈臺局長 森田富士助 殿

第九號

昭和十九年三月四日分市外電話料調書  
 一金貳圓四拾五錢

但レ左記内譯ノ通

野島増澄台長

根小洋 祥男

燈臺局長 森田富士助 殿

月日	區分	種別	通話數	料金	件名	通話先	通話者	備考
三月九日	私用	普通	七	五五	雜件	東京市所 七九〇番	菅田益美	
三月三十一日	公用	式	七〇	七〇	服務係長一行機室 奉成可立位		根小洋男	
四月一日					右全			
					右全			
					右全			

燈臺局長

裏面白紙

裏面白紙

海務院

昭和十九年五月六月分市外電話料調書

一金參圓四拾錢也

但レ左記内訳ノ通

昭和十九年七月七日

海務院監台長

根 小 祥 男

燈基局長 森田富士助 殿

月日	區分	種別	通話數	料金	件名	通話先	通話者	備考
五 一〇	公用	普通	壹	七〇	局長行果合 件打合	橫濱一〇〇五 養成所主任	根 祥	
一 三	"	"	壹	貳〇	右記 燈基局長	燈基局長	"	
二 四	緊急	緊急	貳	壹六〇	局長行調系 件通系	湯浦二五一 湯浦灯台長	"	
三 七	"	普通	貳	四〇	業大課長行果合 件通系	藤公三三一 後務署長	"	
八	私用	"	壹	貳〇	雜件	藤小三三 藤小病院	"	
八	"	"	壹	參〇	局長行果合 件通系	藤小三三 藤小病院	"	

裏面白紙

海務院

一七

函

昭和九年七月拾日

野島均 謹白 根岸 祥男

燈基局長森田富士助 殿

自轉車修繕ノ件

当台備付自轉車、本年使用ノ結果多々劣化シ、磨損甚敷久シ  
使用不能、有之莫如、今般々及劣化シ、回送有之候ニ、別紙  
見務方金額ヲ以テ各部分解掃除、調整及取付ケ、專次  
致支修繕事、信以承認相成被

請方在法求若添付寄送

歳生金支取通云書交付済 昭和九年九月拾日

第 一 號



見積書

金

950

自轉車修繕見積高 皮石外目積金額

内

譯

見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
自轉車修繕	タイヤ及チェーン交換 取付、各部掃除注油	1台分	950	950	
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

年 月 日

千葉縣安房郡白濱町

第 11 號

燈臺局御中

青木 知

會第三十九號

裏面白紙

第一二號

託送電報料金納入通知書

日付印	事由	金額	人付納	通知書番號
	但シ昭和十九年六月分電線託送電報ニ關スル料金 右昭和十九年八月二十日迄ニ當局ニ納付相成度	四月五拾錢	燈臺局	第 號 者當 印務

七一八號ニテ印付

東京地方電信局事務課

裏面白紙

裏面白紙

海務院

二二

届

昭和拾九年八月廿貳日

町島海軍台長 根岸 祥男

燈臺局長 森田富士助殿

イニキ外七件直接購買イ件

昭和十九年度物品要衣書(消耗品)中直接購買予定品中イニキ  
外七件別紙該衣書金額イ件決購入致候條  
右御承認相成度

第一三號

見積書

金 990 外3項 見積高 受名外見積と提出スルモノ

内 譯 見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
0イシキ	4合入	3瓶	35	405	
0白墨		20本	01	20	
0ペン先		38本	05	190	
鉛筆		15本	25	375	
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也  
昭和拾九年六月拾日 千葉縣安房郡白浜町3472

御中

燈臺局御中

大平桂松

會第三十九號

裏面白紙



見積書

金

15 / 5

防蟲剤外3見積高

壹名外見積高控生スルモノナシ

内

譯

見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
防蟲剤		0.2kg	325	65	
0座 掃		4本	25	100	
真鍮磨		2kg	300	600	
蚊取線香	代用品 蚊ガス	10個	75	750	
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

昭和九年六月廿四日

千葉縣安房郡白濱町三四七二

第 一 三 號 内

燈臺局御中

大平桂松

會第三十九號

裏面白紙

裏面白紙

業務課御中 九月二日 野島瑤燈位

技術員赴任旅費未着三回之件

当台移動大徳白井兩技術員赴任旅費未着三回御多ノ上  
何カ御回報知方  
備考

大徳技術員ハ上月十八日白井技術員ハ上月十九日東京ヨリ着任  
旅費未着方又旅行目録ハ兩名分共三月六日提出各運済

野島瑤燈位長次

昭和拾九年九月拾八日

本例申出ノ如ク雇傭人ハ現地採用ヲ以テ原則  
トスルニ付其ハ旅費ハ支給セシムル事ト相  
合リ信賴在リ特ニ事柄ハ之ノ如ク相  
合長ノ手紙ヨリ之ノ旨可致信事其ノ  
事情ヲ具シ後續手續ハ同出スル事

第一四號

19.9.11

裏面白紙

海務院

二五 伺

昭和拾九年九月拾九日

根 岸 祥 男

燈基局長 森田富士 所 啟

技術員赴任旅費支給、例ニ依リ

当台在勤大能、白井兩技術員、各台へ赴任、際旅費八支給サレ、様例ニ及ビテ  
着任有ニ莫ク付旅費該員各一件當額提出致思、未ク支給セシメ付キ  
眼会致候ハ、現地採用ノ際、則ト、通際、接シ候ニ、兩名共採用、際  
支給、物束ナリ、由ニ付キ、右事情、御諒察、上、支給、方、特、以、洽、談  
相成、可

備考

大能技術員 埼玉縣北星三郎志紀、二月二十八日着任

白井、 静岡縣志太郡島田町、二月二十九日

第一四號ノ内

第  
一  
五  
號

特殊郵便物受領證

引受番號	重量	郵便料	受取人の氏名	摘要
637		27 <sup>銭</sup>	燈台局	

(送出人の居所及氏名) 白浜町  
野島崎燈臺

此の受領證は損害賠償の請求を爲すとき其他種々の場合に必要であり  
ますから大切に保存して下さい

19年9月19日引受 千葉縣小戸 郵便局

小為 手 作 付	式 電 電 電	電 電 電	電 電 電	通 話 料 金	件 名	通 話 先	通 話 者	備 考
				式 電 電 電	麦酒樽所 依 麦酒樽所 依 麦酒樽所 依	館小 三三 一	根 岸	
					白 井			
					館 三 大 三 大 三 大			
					館 三 大 三 大 三 大			

田  
富  
士  
助  
殿

野島崎燈臺  
根岸祥男

内  
込  
通

昭和十九年七月八月分市外電話料調書

金  
壹  
圓  
叁  
拾  
銭

海  
務  
院



9311 引 帳 帳 帳

昭和十九年九月五日

昭和十九年七月八月分市外電話料調書  
 一金壹圓參拾錢

但レ夫記内込ノ通

昭和十九年九月五日  
 野島海峽台長 根岸祥男  
 燈基局長 森田富士助殿

月日	區分	種別	通話數	料金	件名	通話先	通話者	備考
七月三日	公用	普通	壹	貳〇	麥酒特等件 依願	館二三一 館小夜務署	根岸	
八月三日	私用		壹	參〇	麥酒特等件 白米打金六件	館一〇〇五 館小夜務署		
八月三日	私用		貳	參〇	推件	館三六 館北術字校	高橋 中尉	
八月三日	私用		拾	參〇				私用分四拾分 小為考 作付

海務院

裏面白紙

裏面白紙

海務院

三〇

届

昭和拾九年拾月六日

野島海軍部長 根岸 祥男

燈臺局長 森田 富士助 殿

時計修繕件

無線通信用標準時計五合ニテ使用不能ト相成候條修繕  
施行致意ニ付テ御承忍相成候

第一六號

見積書

金 600

見積高

電名外見積書  
提出又ハ又ハ

内 譯 見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
時計修繕	多那掃除浮油 及加修後	1		600	
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

昭和三十九年六月十四日

千葉縣安房郡白濱町

燈臺局御中

大平桂叔

會第三十九號

裏面白紙

線 入 家



裏面白紙

海務院

昭和拾九年拾月六日

二九

届

野島海陸台長 根岸 祥男

燈臺局長 森田富士助殿

木炭購買件

海運總局總務局長、取給對當通冬接ニタル本年及所要木炭  
別表該表方金額ニテ購置致候條事、御承認相成及  
尚右炭一此購入ニ於テ目下手配中、有之矣

第

號



見積書

凌色外員積書提出スルニ付

金

60  
2790

見積高

内

譯

見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
木炭	黒一等	105 <sup>kg</sup>	180 <sup>円</sup> 280	1960 <del>2890</del>	
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

昭和二十一年四月廿四日

千葉縣安房郡白濱町

白濱町農業會

代表者 吉田眞治郎



會第三十九號

券

號ノ中 燈臺局御中

裏面白紙

裏面白紙

海經第二四二五號

昭和十九年九月十四日

昭 和 給 炭 配 給 課 長 野 島 崎 中 海 運 總 局 總 務 局 長

野島崎 中

昭和十九年度官需薪炭配給ニ關スル件

本年度貴局所要薪炭ハ左記ノ通り配給決定候條當該都道府縣ト連絡現品入手相成度尙同一文書番號ヲ以テ都道府縣經濟部長宛依頼置候條了知相成候

記

都道府縣名	本 炭 (庇)			薪 (庇)		
	事務用	厨房用	鑛工用	事務用	厨房用	鑛工用
分島赤線			二五五二五五			
			計			計

第

一七號ノ内

定款 石炭一也 赤炭一〇五内 薪木炭一三五五

第 1 號 物品保管換報告書

昭和19年10月30日

保管換元

標識技手根岸祥男

保管換先燈台局工務課無線係

保管換 昭和19年10月20日 補助簿登記

燈臺局物品玉納命令官殿

所屬費目

物品整理已分 工事材料品

品名	單位	數量	回送便別	備考
整流真空管 (9-カーヴルブ)	個	5	特 便	

裏面白紙



裏面白紙

海務院

昭和九年拾月廿日

野島塔燈台長 標識技手 根岸祥男

燈基局長 森田富士助 殿

整流真空管(多クハルダ)保管換ニ関スル件)

燈台官吏養成所ヨリタカク充て用 整流管品不足ニテ 事業上支障有之  
ニテ 当台在庫品ノ一部ヲ塔向無線係ノ保管換方 有之ヲ旨申出ニ接  
候條 当台在庫品九個ノ内五個ヲ保管換致スニテ 右御承認 相成ス

第 一 號ノ出



特殊郵便物受領證

第  
一  
八  
號  
ノ  
内

引受番號	重量	郵便料	受取人の氏名	摘要
973	25	20	燈台官吏養成所	
(送出人の居所及氏名)				
野島崎燈台				
此の受領證は損害賠償の請求を爲すとき其郵便物の場合に必要でありますから大切に保存して下さい				

19年11月16日引受 千葉縣小戸 郵便局

小包が一應送付、庫ハ九ヶツキン中  
小包が本日送致置候条受領相成方

燈台官吏養成所  
野島崎燈台  
取合送付、件



昭和十九年九月十四日  
野島塔燈台  
事務課

燈基官吏養成計

昭和十九年十月十四日

野島塔燈台

光費用取立送付一件

光費用六ヶ所一ヶ所が一懸法信庫ハ九ヶ所キヤ中  
五ヶ所別途書為小包ノ布日券送致置候条受領相成リ

裏面白紙